

492

利用するにけは漢文の利便的でもある。

二月三日(水)。

カニ号
カニ号
カニ号

吾々 Intenues に依る "リビングストーン キャンプ
時報" と呼ぶカニ号が今日世に布された、
縮寫版六頁で従も老人連には虫鏡がふくまは
やうの代物に。中告校の週刊雑誌の如きも
ので、本に内容は十分の整理に過ぎない。編輯
とは舞踊家の伊藤近雄君である。ふせか
本職の記者連が多岐の所にも拘らず、筆を
遣いてゐるのは可笑いものである。右カニ号中に
布陸からの大陸移住家族は、1942年1月のアー
同船で百廿名、本年一月第二回に四百四十三名
が Arkansas の Jerome に収容されてゐる事が
記されて居る。又 八月三十日には帰国決定の
ハワイ家族は North Carolina の Grove Park Inn
に在り、其他四十家族が モントリートのアッセンブリー
インに移されて居ると報じてゐる。

布陸
大陸
家族
実地

二月四日(木)。

午後雨を見る。二月の初めといふものの將に
春雨の威がある。雨が降ると何れも細工物を屋
内でやり出すので、矢屋にうと埃が立つと聊か平
はだ。だがインターミットに曇らした、雨に閉ざされた
無聊の物哀れさがある。本日、長松大隊長から

494

の走る音をベクトルの上で聴く。仙ノルによってインター
諸君は、何にか夢フル予がある毎にワルさい。ヤアあて
こにまだ燈がついてゐる、何んのニツた、あしてはブ
ラッアワトルはあらんやあいか、ソレ自動車がおんて
ゐるや、まるで蛙が巢でも造った様に馬鹿々い、平
一通りではあいか。どうも Internes 諸君は他人の迷惑
を笑ひ仕過さる。

二月五日(金)

エ
ビ
の
天
ぷ
ら
夕飯にエビのてんぷらに新鮮なスピニツケが出た
無論米飯は附いて居る。皆の喜びは実に純項ル連
たしと形容するに敢て過言ではあからう。食後は暫く
此のテンプラとスピニツケの落で持ちまじりだつた。一時
皆の憂鬱が拂拭されて明かると成つた村にも観て、
極少の Spinach 以外は、断然に口をきかつた僕
でさへも嬉しかつた位である。 Internes 生活には
食事が一番の慰安でもあるから、ウマイ日中食にあり着
いた場合の歓喜は凄まじい人間には想像で
きあひ。

蔣
其の
歴史
論

大好物のエビのてんぷらと流しに鶏卵とミル
とで澄ましておいてはあらん此の胃が今更怒らぬい。

ラヂオ放送にて傳へられる外にふと、蔣介石が
桑港に到着したといふ。若し事実とするは今次大
戦の一大転換が、近い将来に見られるものと予測
される。蔣夫妻の渡米は疑ひもなく口内の反逆